

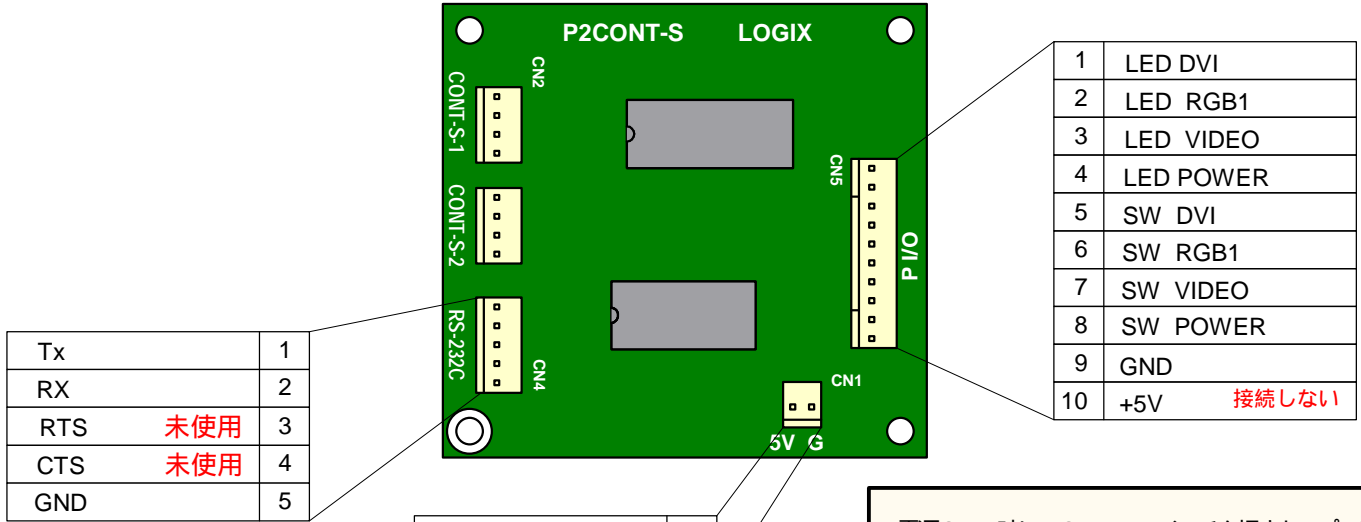
# 信号変換基板 取扱説明書

接点 RS232C  
松下プロジェクト TH-L6510用

## (有)ロジックス

857-0055  
長崎県佐世保市湊町2-15 E-mail : logix@lgx.co.jp  
電話 : 0956-25-3963 WebPage : www.lgx.co.jp  
FAX : 0956-25-3964

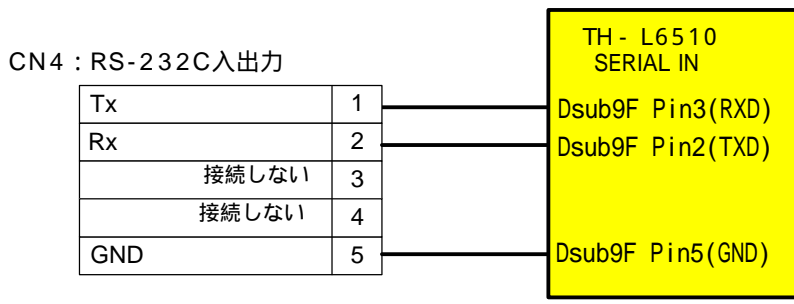
この変換基板は基板上の1チップマイコンのプログラムを調整することで、その機能を実現しています。入出力の仕様は下記のとおりです。電源、および信号の極性には十分注意して配線してください。注意点として、接点入力の場合は信号線の長さは1M以内(できるだけ短く)、RS-232C信号は15M以内で使用してください。この長さは使用する環境により、左右されます。



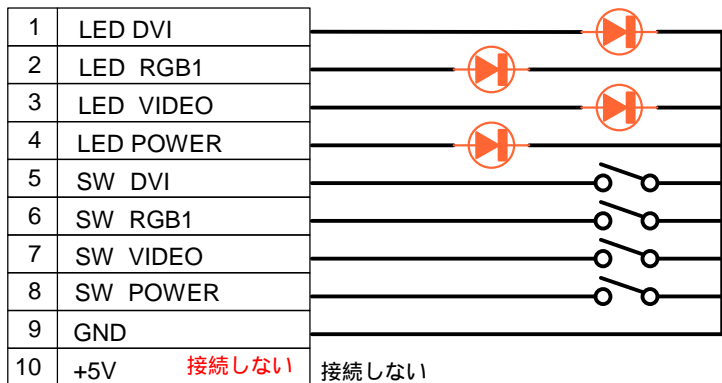
Tx	1
RX	2
RTS	未使用 3
CTS	未使用 4
GND	5

+5V	1
GND	2

CN1 : 電源入力 安定化されたDC 5Vを入力します (消費電力: DC5V 50mA以下)



CN5 : パラレルコントロール入力



電源OFF時にPOWERスイッチを押すと、プロジェクトの電源が入りランプ点灯制御になります。このとき、LED - POWERはオン3, オフ1の割合で点滅します。点灯制御中、もう一度POWERスイッチを押すと消灯制御に移ります。消灯制御中はLED-POWERが1対1の割合で点滅します。

電源オン時、POWERスイッチを押すと消灯制御に移ります。消灯制御中はLED-POWERが1対1の割合で点滅します。消灯への移行時は再度POWERスイッチを押しても点灯制御には移行しません。消灯制御中のランプが消えると、POWERオン受付可能になります。電源オフへの移行時、今まで点灯していた入力ポジションランプはすべて消灯します。

電源オン時、入力切換スイッチ(SW VIDEO, SW RGB1, SW DVI)を押すとプロジェクトに対応する入力に切り替わります。このとき対応するLEDも切り替わり点灯します。入力ポジションのLEDはプロジェクトの状態を反映しているわけではなく最後に押されたスイッチの状態を示しています。電源オフ時は入力切換は機能しません。

これらの端子をGNDに接続すると、該当するRS-232Cコマンドが出力されます。この信号はグラウンドにショートした瞬間、出力されます。同時に複数選択することは禁止です。